

1 中期学校経営方針



(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
まちに生き、自分で自分の生き方を切り拓いていける人	自分づくりに関する力

(2) 中期取組目標

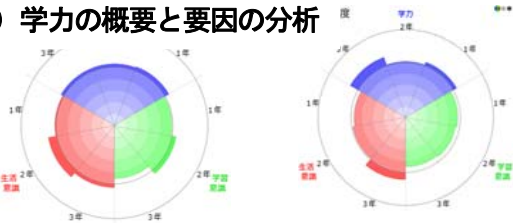
中期取組目標
<p>○確かな教育課程を実施し、生徒一人ひとりが充実感を味わい、個に応じた指導を行い、確かな学力を身に付けさせる教育活動を展開します。</p> <p>○開かれた学校、地域で育つ学校を目指し、小中・家庭・地域連携を推進し、積極的に地域のボランティア活動などに参加し社会に貢献する姿勢を育みます。</p> <p>○野庭中学校との統合に向け、教育環境を整備していきます。</p>

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知	<p>①「授業研究週間」を設け、「学び合う教師集団」を作ります。カリキュラムマネジメントのPDCAサイクルを充実させ、わかりやすい授業を行います。②個に応じた学習形態を工夫し、学力を向上できるよう支援します。③図書ボランティアの支援のもと良好な読書環境を提供します。</p>
担当 教育課程委員会 教科主任会	

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析



各学年ともに、学力は全学年で横浜市の平均を上回っており、平成29年度と同水準になっている。学習意識は現2年生で横浜市の平均をやや下回っている。学習意欲を向上させるための指導の改善や工夫が必要である。生活意識は全学年で市の平均をやや上回っている。今後も、落ち着いた環境の中で学校生活を送り、学習や学校生活に取り組むことができるように努めていきたい。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：国語に対する関心・意欲は高い。そのため思考力・判断力・表現力等を育成する基礎となる知識および技能の習得を図る授業を展開する。
- 社会科：現3年生は知識・理解が市平均より高い一方で、思考・判断・表現が市平均より低い。現2年生は思考・判断・表現が市平均より高い一方で、知識・理解が市平均より低い。3年生は基礎的な力をどのように総合していくかの活用力の育成、2年生は基礎・基本の能力の定着を意識し改善を図っていく。
- 数学科：現3年生は知識理解が市平均より高く、現2年生は技能に優れている。課題としてどちらも思考力を伸ばすために、既習事項を結び付けて考えを深められるような授業を展開する。
- 理科：現3年生は、意識が非常に高く、どの観点も全体的に市平均を上回っている。現2年生は、意識は高く、知識は定着しているものの、思考・表現力に課題がみられる。それぞれの課題に合わせて、授業を展開していきたい。
- 外国語科：全体的に市平均程度である。現3年生は英文を読みとる力が、現2年生は英文を書く力がやや低く、課題があるので、授業による改善を図ってきたい。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

平成29年度から30年度の2年間の経年変化の状況を見ると、学習意識については概ね市平均程度であるが、教科によっては市平均を下回っている教科があり、より一層、興味・関心を喚起するための授業改善や工夫が求められる。学力においてはどの学年も市平均を上回っている。生活意識「人とコミュニケーションをとることが好きですか」では、85%が「好き」「どちらかといえば好き」と回答している。また、「授業では自分の考えを公表していますか」の項目では、「よくしている」「どちらかといえばしている」で45パーセントであり、昨年度より15%減少した。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を図り、学習内容を深く理解し、資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けられるような生徒の育成に努めていきたい。



3 平成31年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	<ul style="list-style-type: none"> 相手の思いを受け止めて聞く力 様々な場面で言葉を使いこなす力 多くの情報の中から、正確なものを判断する力 	<ul style="list-style-type: none"> 他者との話し合いを通して自分の考えを深める機会を多く作る。 学校図書館を活用し、数ある資料の中から学習内容に適したものを選択する活動を行う。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地域と関わろうとする姿勢 主体的に社会に貢献する姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 地理や歴史の学習を通じて、自分の生活する地域について知り、関わる姿勢をはぐくむ。 地理・歴史・公民の学習を通じて、自分たちの生活する社会の在り方について知り、主体的に関わり、貢献する姿勢をはぐくむ。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面で言葉を使いこなす力 振り返りの習慣 解決手段を見つけ、行動する力 	<ul style="list-style-type: none"> 用語や性質を使って説明をしたり、教え合ったりする機会を多く作る。 テストや章末などで学習を振り返り、今後の方向性を見出す機会とする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 目的を理解する力 目的を達成するために協働する力 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の実験の内容と何を学ぶのかを考え、理解して取り組む力をつける。 実験の目的に向かって、今自分がやるべきこと、できることを考えて行動する力を養う。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 変声や一人一人の声の違いなど、合唱等を通して考えさせる機会を作る。 個人練習やパート練習の時間を授業内で取り、苦手な部分や箇所を発見し克服する機会をつくる。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 自分のよさや能力を発揮する力 目的を理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の持っている力を他者との相互鑑賞の時間などを通してより深く知る機会を作る。 ただ作るのではなく社会の枠組みの中でのデザインや鑑賞を知り、学習する意味を理解させる機会とする。 	
保体	<ul style="list-style-type: none"> 解決手段を見つけ、行動する力 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を発見する力を育むため ICT 教材を用いた動作分析を行わせる。 課題の解決に向けて考える力を育むため、グループでの話し合い活動を行う。 	
技・家	<ul style="list-style-type: none"> 計画を立て実行する力 目標達成するために協働する姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識と技能を生かして実習を計画する。 実践的・体験的活動の充実を図ると共に言語活動等を通じて思考力・判断力・表現力を養う。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ○様々な場面で言葉を使いこなす力 	<ul style="list-style-type: none"> 言いたい表現が英語の言葉としてアウトプットできるように、繰り返し学べるような授業を計画する 	

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこととして物事をとらえる力 ・他者を理解する力 ・自己を理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を自分事としてとらえ、その中で自分の考えたことをグループやクラスで共有しあう機会を作る 	
特活	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て実行する力 ・見通しをもって計画を立てる力 ・目標達成するために協働する姿勢 ・集団における立場や役割に気づく ・自分のよさや能力を発揮する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や生徒会活動、学校行事を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこととして物事を捉える姿勢 ・相手の思いを受け止めて聞く力 ・目標達成するために協働する姿勢 ・地域と関わろうとする姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を自分事としてとらえ、目標達成のために、他者と協働して取り組む機会を多く設定する。その中で、相手の思いを受け止めて考えたり、次の行動につなげたりしていく。 ・様々な学習課題で、地域とつながり、地域の一員としての自覚を育む。 	

個別級	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を作る態度 ・集団における立場や役割に気づく ・他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ・心身の負担を解消する手立てを見出す能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における流れやルール、係を明確にし、具体的な取り組み方について学ぶ機会を設定する。 ・清掃や学級活動において交代でリーダー役を担わせ、リーダーシップやメンバーシップを学ぶ機会を設定する。 ・担任が一人ひとりの課題や良さを認める姿勢を率先して示し、自分や他者を理解し受け入れやすい学級づくりを行う。 	
-----	--	---	--